

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	WT1 ペプチドワクチンの HLA 拘束性に関する検討		
1. 研究の目的と方法	<p>WT1ペプチドのHLA拘束性に関する研究。WT1というタンパクに由来するWT1ペプチドが、そのWT1タンパクを発現する腫瘍細胞に反応するリンパ球を誘導できるかどうかを調べます。この研究は、リンパ球をWT1ペプチドで刺激してそのリンパ球からインターフェロンが出るか否かなどを実験室で調べることにより行います。種々のWT1ペプチドを用いて実験し、患者さんの保存リンパ球より調べたHLA型をもとにして、どのWT1ペプチドがどのHLA型のリンパ球に強く反応するかなどを解析します。したがって、その保存リンパ球のHLA型の一部はすでに調べてありますが、さらに別のHLA型も調べることがあります。</p> <p>注① WT1とは、さまざまな腫瘍に存在しているたんぱく質の1つです。この蛋白質を細かく分解したアミノ酸がWT1ペプチドです。WT1ペプチドはリンパ球を刺激することが可能です。しかし、このリンパ球を刺激できるWT1ペプチドは、患者さんのHLA型ごとにアミノ酸の配列が異なります。</p> <p>注② HLAとは、ヒトが自己と非自己を認識する上で、もっとも重要な抗原です。白血球などに発現していますが各個人によって遺伝子の型が異なります。</p>		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	先行研究①「成熟樹状細胞ワクチンの開発」（29-063(8679)および②「腸内細菌の免疫系への影響」（29-203(8819)）にご参加いただいた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	東京慈恵会医科大学附属柏病院で凍結保存してある末梢血単核細胞（上記研究①と②の試料の2次利用になります）	
	(2) 試料の取得の方法	先行研究である上記研究①と②で、すでに凍結保存してある血液中の細胞（末梢血単核細胞）を使用します	
	(3) 情報の種類	診断名：がん	
	(4) 情報の取得の方法	先行研究①「成熟樹状細胞ワクチンの開発」（29-063(8679)および②「腸内細菌の免疫系への影響」（29-203(8819)）にご参加いただいた方のデータを2次利用します	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学附属柏病院 消化器・肝臓内科
		氏名	研究責任者： 小井戸薫雄
(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥		

	(3) 試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ
	(4) 共同で研究を実施する機関とその責任者	大阪大学大学院医学系研究科 中島 博子（機関の長：西尾章治郎） 東京ミッドタウン先端医療研究所所長 田口 淳一（機関の長：田口淳一）
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究で収集・取得された試料・情報は患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報情報を削除し、新たに研究用の ID や番号が既につけられています。凍結保存してある血液中の細胞（末梢血単核細胞）および先行研究で調べた HLA 結果の 2 点は、既に提供済みです。それ以外の追加提供はありません。実験は、大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 癌幹細胞制御学寄附講座やその関連講座（癌ワクチン療法学寄附講座など）にて実施されます。	
<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学附属柏病院 消化器・肝臓内科 研究責任者：非常勤講師 小井戸薫雄（こいど しげお） 窓口担当者：非常勤講師 小井戸薫雄 非常勤講師 小井戸薫雄の連絡が取れない場合、准教授 内山 幹（うちやま かん） 電話番号：電話： 04-7164-1111 （内線：3202） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00／休診日を除く	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。